株式会社ルクレ | 2026年11月13日

2026年9月期 決算説明資料

証券コード：648A（東証グロース市場）

2026年9月期 決算ハイライト

売上高

3,529百万円

前期比 120.8%
予想比 101.6%

営業利益

725百万円

前期比 220.0%
予想比 105.4%

営業利益率

20.5%

前期比 +9.3pt
予想比 +0.7pt

ストック売上比率※1

38.3%

前期比 +7.5pt
前期 30.8%

主要KPI

全社｜ARR※2

1,675百万円

前期末比 156.9%

施工記録｜契約社数※3

12,728社

前期末比 118.2%

施工記録｜累計ID数※3

131,622ID

前期末比 138.3%

※売上高・営業利益・営業利益率・ストック売上比率は2026年9月期実績。ARR・契約社数・累計ID数は2026年9月末時点。
※1：ストック売上比率は全売上高に占めるストック売上高の比率。ストック売上高は施工記録領域の実績を記載。
※2：ARR（Annual Recurring Revenue）は当該月におけるストック売上高（「蔵衛門プレミアム」のID利用料等、継続課金により発生する売上高）を12倍して算出。
※3：契約社数は「蔵衛門プレミアム」を契約している法人顧客数。累計ID数は「蔵衛門プレミアム」の有料契約に基づき利用可能なID数。いずれもエンタープライズプラン及びパックプランの合計。

© LECRE Inc.

CONTENTS

1 事業概要

2 2026年9月期 通期実績

3 2027年9月期 業績予想

4 成長戦略

5 事業ハイライト

6 Appendix

1

事業概要

ミッション・ビジョン

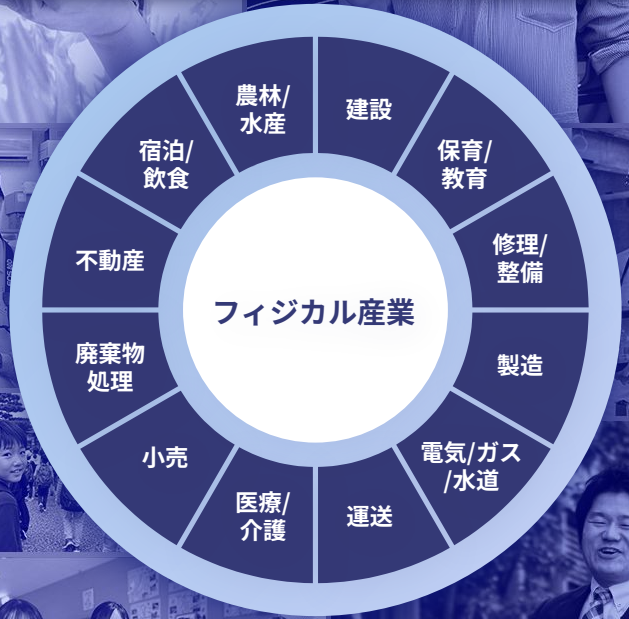
MISSION

「記録」で世界をアップデートする。

VISION

写真×テクノロジーで、
やさしいDX支援企業になる。

フィジカルワーカーの現場業務が
中心となる産業を**フィジカル産業**と定義



© LECRE Inc.

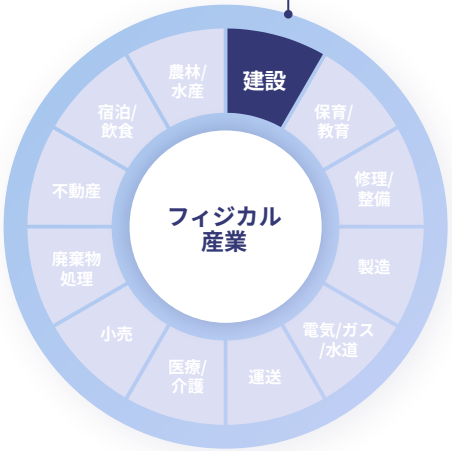
施工記録領域

第１の記録DX基盤を確立

施工 成長 整備

１１万社の顧客基盤を背景に、現場の“撮るだけ”の写真インプットを記録特化型ＡＩが自動で構造化データへ変換する「建設ＤＸプラットフォーム」を展開。現場とデスクの情報分断を解消し、業務効率化と施工の透明性向上を支援。

施工記録領域



事業ハイライト

累計導入社数※1	売上高※2	累計学習データ数※3
11万社	2,508百万円	17億枚

クラウド

蔵衛門クラウド



現場・事務所・発注者を繋ぐ施工記録 AIクラウド。 写真・黒板を自動整理。

デバイス

蔵衛門Pad



電子黒板と写真撮影・整理を一体化した現場に最適な施工記録タブレット。

デスクトップソフト

蔵衛門御用達



工事写真の整理・台帳作成を効率化するデスクトップPC向けソフトウェア。

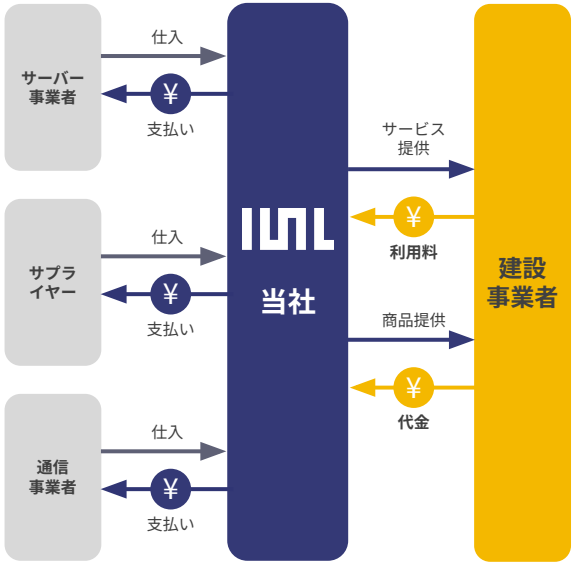
通信SIM

ルクレSIM



蔵衛門Pad専用のデータ通信サービス。現場でクラウドと常時接続。

事業系統図



※1：オフライン環境等で工事写真を整理し、写真台帳等の成果物を作成する「蔵衛門御用達」と「蔵衛門プレミアム」を導入した2026年9月末時点の会社数
※2：売上高は2026年9月期実績。
※3：累計学習データ数は蔵衛門クラウド上の施工写真等の記録データ数（2026年8月末時点）。

© LECRE Inc.

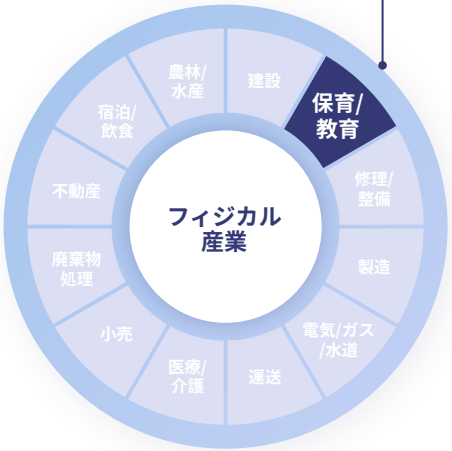
成長記録領域

第２の記録DX基盤を再現

施工 成長 整備

施工記録領域で培った写真×ＡＩのコア技術を保育・教育現場へ展開し、ＹＡＵ２３万人、売上約１０億円の第２の柱へ成長。成長記録領域での事業化を通じ、記録ＤＸ基盤のフィジカル産業への横断的な展開可能性を実証。

成長記録領域



事業ハイライト

YAU※1	売上高	ARPU※2
23万人	999百万円	4,343円

クラウド



みんなの写真屋さん

写真店・スクール・保護者を繋ぎ、写真の展示・販売・集金業務をDX化。日本人のこどもに特化した顔認識AI「うちの子AI」を搭載。保護者が写真を探す手間を「うちの子検索」で削減。

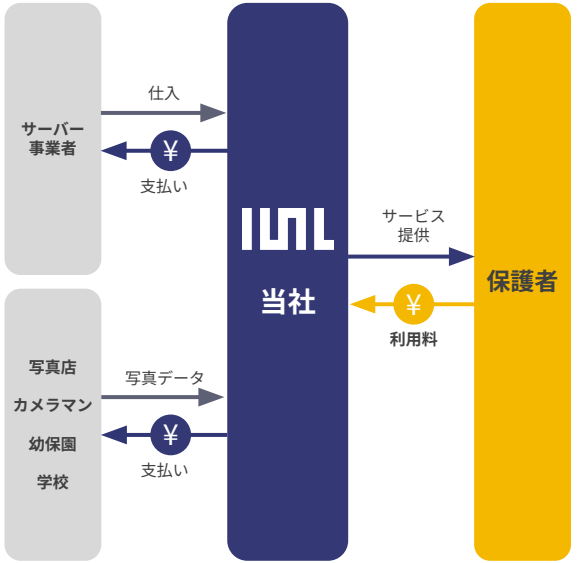
クラウド



せんせいみて！

保育士から保護者へ、保育中のこどもの様子をリアルタイムで配信できるアプリ。顔認識AIが動画を解析し、忙しい保育士に代わって撮り漏れの検知や保護者への個別通知を行う。

事業系統図



※数値はすべて2026年9月期実績。
※1：YAU（Year Active Users）は該当年度内に販売サイトで一度でもセキュリティキーを認証した保護者数を対象として算出した数値。
※2：ARPU（Average Revenue Per User）は売上高をアクティブユーザー数で除して算出した数値。

© LECRE Inc.

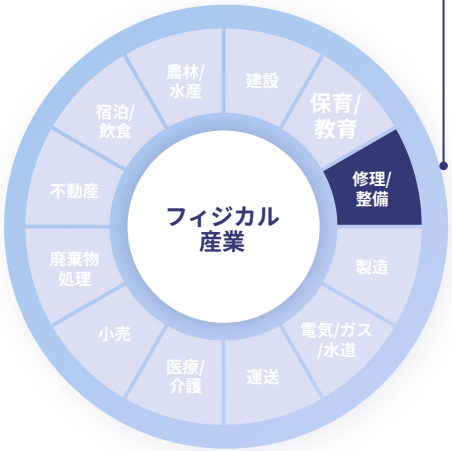
整備記録領域

第３の記録DX基盤を展開

施工 成長 整備

透明性向上と人手不足への対応が急務な車体整備業界へ展開。２０２６年６月、修理・整備ＡＩクラウド「AITURBO（アイターボ）」を提供開始。修理写真を起点に工程・品質・案件情報を一元管理し、工場の生産性向上を支援。

整備記録領域



事業ハイライト

月間処理台数※1	ARR	１社平均処理台数
1,600台	18百万円	89台

クラウド



AITURBO

修理写真を起点に、工場全体の作業進捗や納期を工程表で可視化。写真打刻で作業状況の更新を自動化し、ホワイトボードによる管理業務を効率化。

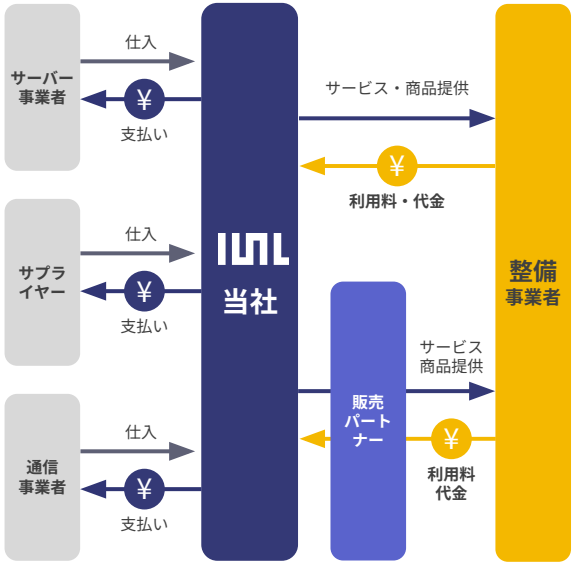
デバイス



AITURBOカメラ

現場の職人がスマートフォンで作業の開始・途中・完了を撮影。写真を案件・修理工程ごとに整理し、工場全体ですぐに共有。記録漏れや進捗確認の手間を削減。

事業系統図



※数値は2026年9月期実績。
※1：月間処理台数は該当月に修理対応を行った台数の合計。

© LECRE Inc.

全社

写真×AI×クラウドで、3領域へ広がる「記録DXプラットフォーム」

現場の“撮るだけ”を入口に、記録特化型ＡＩが写真を業務文脈に沿った構造化データへ変換し、クラウドで共有・活用。施工記録で確立した共通基盤を成長記録・整備記録へ展開し、フィジカル産業の記録業務をアップデート。

写真を撮るだけ › 特化型AIが構造化 › クラウドで活用



© LECRE Inc.

1 施工記録領域

累計導入社数 11万社※ | 売上高 2,508百万円※ | ストック売上比率 38.3%※

デバイス → データ連携 → クラウド



専用端末

クラエモン パッド
蔵衛門Pad

回線



データ通信SIM

ルクレSIM



クラウドサービス

クラエモン
蔵衛門クラウド

プレミアムIDで利用できるアプリ

アプリマーケット



蔵衛門プレミアム | 有料メンバーID
蔵衛門クラウドと各種アプリを無制限で利用する契約

2 成長記録領域

YAU 23万人※ | 売上高 999百万円※

写真屋さん® | せんせいみて!



3 整備記録領域

2026年6月提供開始

累計導入社数 18社※ | ARR 18百万円※

AITURBO



※数値は2026年9月期実績。ストック売上比率は全社売上高に占めるストック売上高の比率。整備記録領域の累計導入社数は「AITURBO」を導入した事業者数（2026年9月末時点）。

© LECRE Inc.

2

2026年9月期 通期実績

全社業績

損益計算書サマリー

売上高は３５.２億円（前期比１２０.８%）、営業利益は７.２億円（同２２０.０%）と増収大幅増益。施工記録・成長記録とも売上高が業績予想を上回り、各段階利益も予想を上回って着地。

（百万円）	25/9期 実績	26/9期 予想	26/9期 実績	前期比	予想比
売上高	2,920	3,473	**3,529**	120.8%	101.6%
売上総利益	1,337	—	**1,831**	136.9%	—
売上総利益率	45.8%	—	**51.8%**	+6.0pt	—
営業利益	329	688	**725**	220.0%	105.4%
営業利益率	11.2%	19.8%	**20.5%**	+9.3pt	+0.7pt
経常利益	341	701	**739**	216.4%	105.5%
当期純利益	226	464	**484**	214.4%	104.4%

※百万円未満切り捨て。比率は小数第2位以下を切り捨て。

© LECRE Inc.

全社業績

領域別売上高

施工記録はストック売上の伸長により２５.０億円（前期比１２４.７%）へ成長。成長記録はプラットフォーム型への移行で９.９億円（同１１０.５%）に拡大。その他の売上高には、２０２６年６月に提供を開始したAITURBOを含む。

（百万円）	25/9期 実績	26/9期 実績	前期比	構成比
施工記録領域	2,011	**2,508**	124.7%	71.0%
フロー	1,064	**1,140**	107.1%	—
ストック	902	**1,352**	149.9%	—
その他	45	**15**	35.2%	—
成長記録領域	903	**999**	110.5%	28.3%
その他	5	**21**	412.3%	0.6%
合計	2,920	**3,529**	120.8%	100.0%

※フロー売上高は専用端末・買切り版ソフト等の売上高。その他の領域には整備記録AIクラウド「AITURBO」等を含む。百万円未満切り捨て。

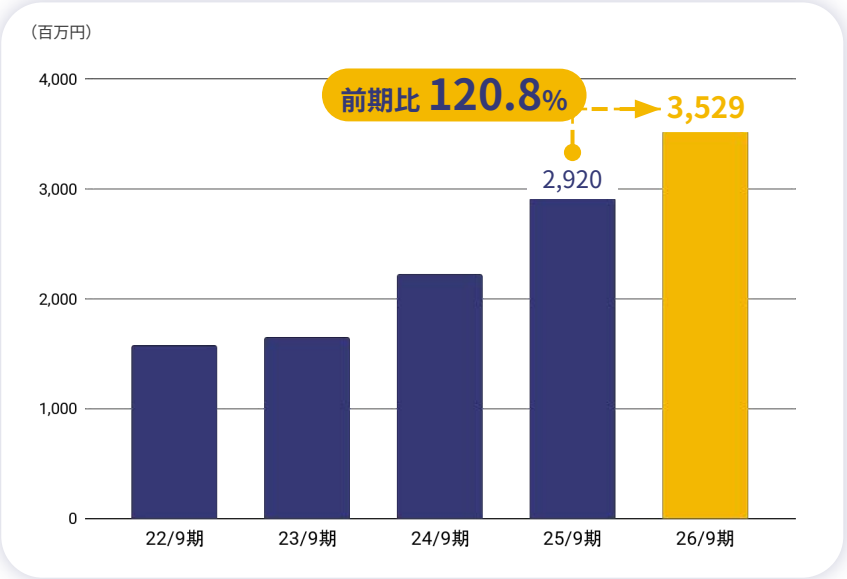
© LECRE Inc.

全社業績

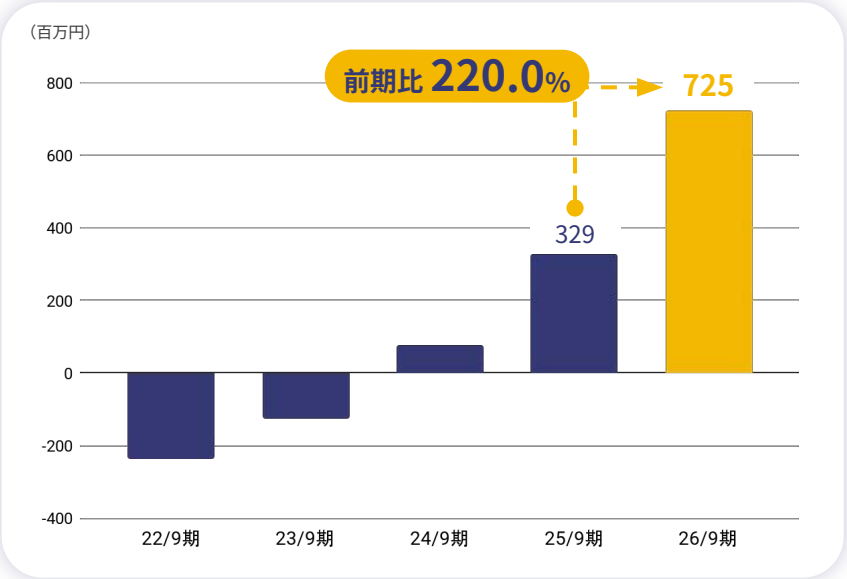
売上高と営業利益の成長

売上高は連続増収で３５.２億円に拡大。営業利益は２４/９期に黒字転換し、７.２億円まで伸長。クラウド化の進展によるストック売上の積み上げで、売上の伸び以上に利益が伸びる収益構造に。

売上高の推移



営業利益の推移



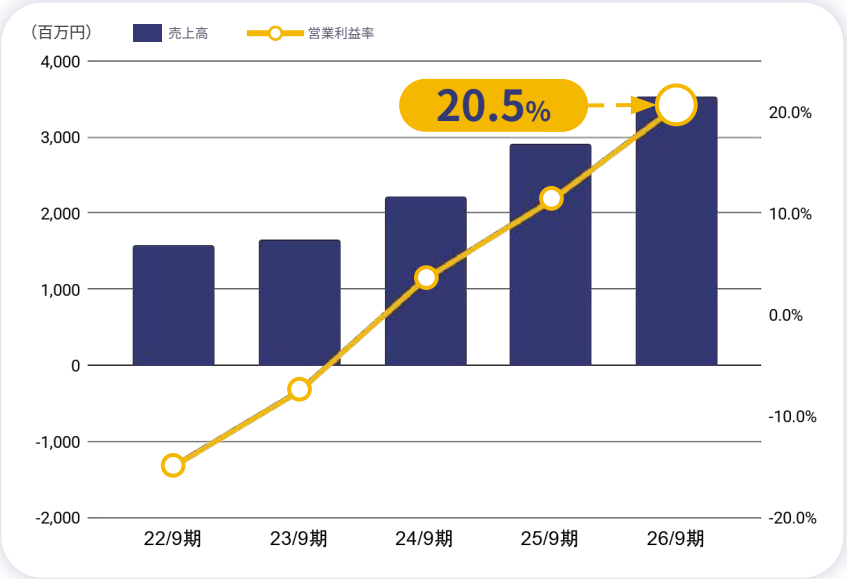
© LECRE Inc.

全社業績

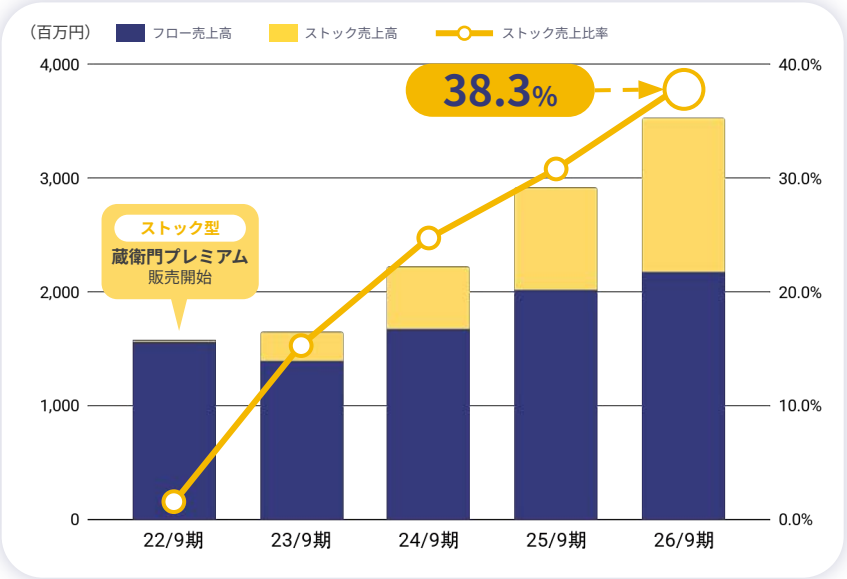
ストック売上の積み上げと収益の持続性

クラウドサービスへの移行により、ストック売上高は１３.５億円（前期比１４９.９%）、ストック売上比率は３８.３%（同＋７.５ｐｔ）に上昇。継続収益の積み上げで収益の安定性が高まり、営業利益率は２０.５%に向上。

売上高および営業利益率の推移



売上高とストック売上比率の推移



© LECRE Inc.

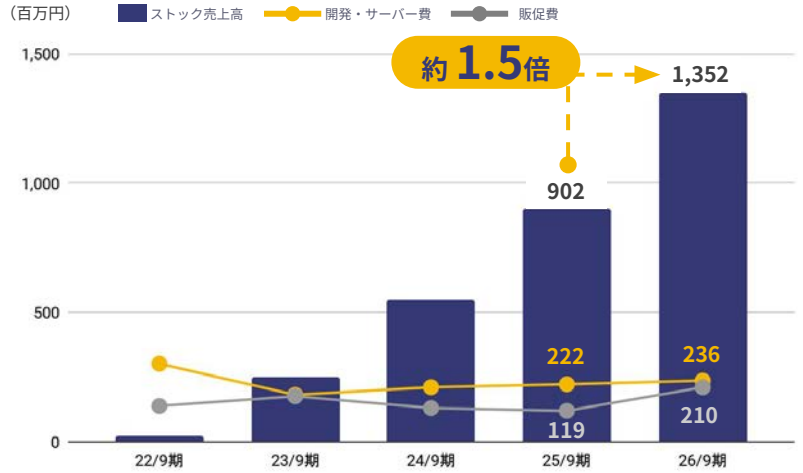
全社業績

人員増に依存しない成長を支えるコスト構造

ストック売上高が１３.５億円へ拡大する一方で開発・サーバー費は２～３億円の水準で推移。従業員一人当たり売上高も７６.７百万円（前期比１１５.６%）に上昇し、営業人員の増員に依存せず売上を伸ばす構造を構築。

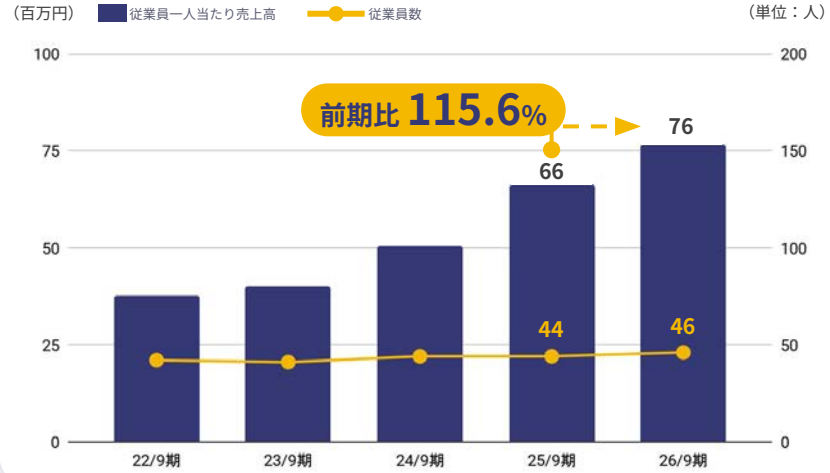
ストック売上高と開発・サーバー費／販促費の推移

ストック拡大とコスト効率を両立



従業員一人当たり売上高の推移

人員増に依存せず一人当たり売上高が向上



※開発・サーバー費は売上原価及び販売費及び一般管理費に含まれる開発・サーバー関連費用を当社で集計した金額。販促費も同様。従業員一人当たり売上高は売上高を期末従業員数（就業人員。臨時従業員を除く）で除して算出。

© LECRE Inc.

全社業績

主要KPIの推移

全社ＡＲＲは１６.７億円（前期末比１５６.９％）に拡大。施工記録はＩＤ数・契約社数ともに増加し、成長記録はＹＡＵ・ＡＲＰＵとも前期を上回る。整備記録は９月末時点で導入１８社・月間処理台数１,６００台。

領域｜KPI	25/9期末 実績	26/9期末 実績	前期末比
全社｜ARR（百万円）	1,067	**1,675**	156.9%
施工記録｜契約社数（社）	10,763	**12,728**	118.2%
施工記録｜累計ID数（ID）	95,157	**131,622**	138.3%
施工記録｜解約率（%）※	0.16	**0.22**	+0.06pt
成長記録｜YAU（人）	218,481	**230,131**	105.3%
成長記録｜ARPU（円）	4,136	**4,343**	105.0%
整備記録｜月間処理台数（台）	—	**1,600**	—

※解約率は、エンタープライズプランを契約する会社単位の解約率であり、各事業年度の各月の解約率（当月の解約会社数÷当月末時点の契約会社数（累計））を単純平均して算出。なお、ライセンスパックプランは、工事現場単位で導入する商品であり、当該現場の工事完了に伴って利用が終了することを前提としている。当該利用終了は顧客の離反によるものではなく、サービスの継続的な利用状況を示す指標には適さないと考えられることから、解約率の算定対象に含めていない。

© LECRE Inc.

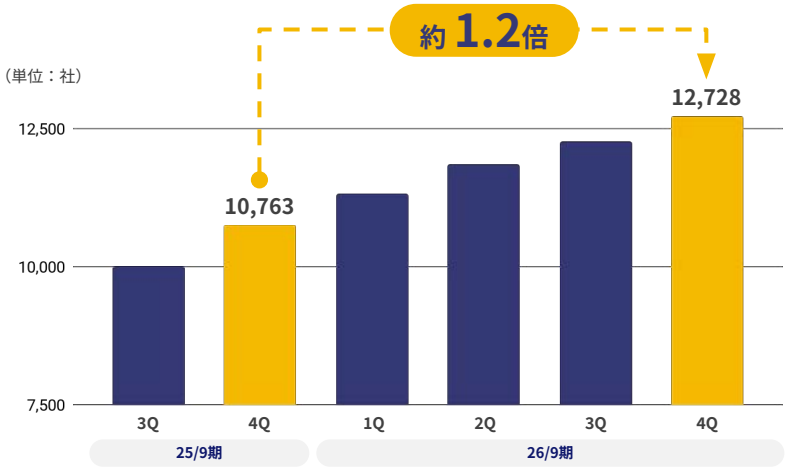
施工記録領域

「蔵衛門プレミアム」契約社数・ID数の拡大実績

既存顧客の切り替えと現場起点での導入により、累計契約社数は前期末比約１.２倍の１.２万社に拡大。サービスが日々の業務に組み込まれることで顧客内のＩＤ数が増え、累計ＩＤ数は同約１.４倍の１３.１万ＩＤへ成長。

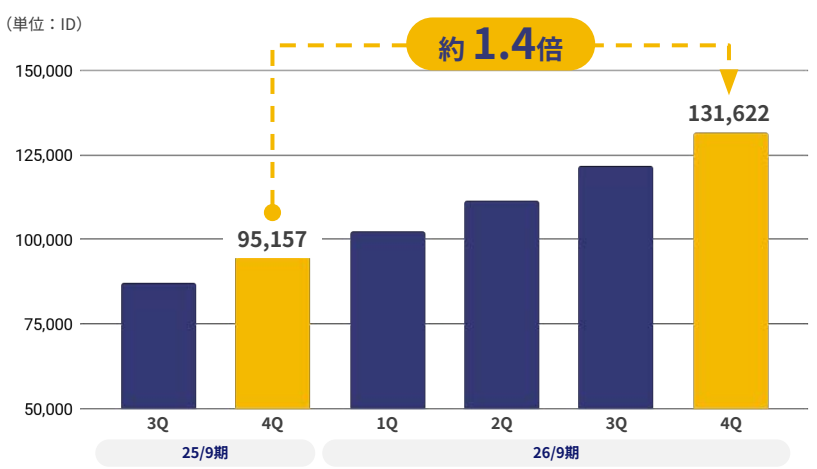
累計契約社数

顧客基盤をテコに約1.2倍



累計ID数

顧客内でのID拡大により約1.4倍



※累計契約社数・累計ID数は各四半期末時点。

© LECRE Inc.

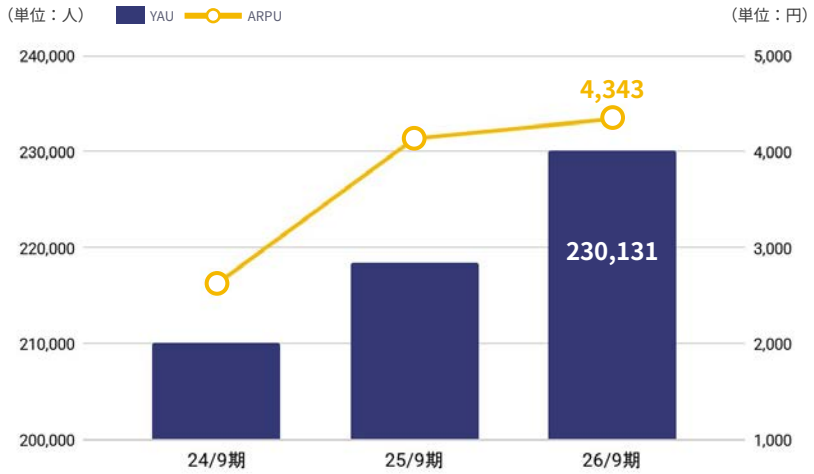
成長・整備

成長記録・整備記録のKPI推移

成長記録は導入施設の増加でＹＡＵ２３万人（前期比１０５.３％）、「うちの子」の提供開始でＡＲＰＵ４,３４３円（同１０５.０％）に拡大。整備記録は提供開始４か月で月間処理台数１,６００台、導入社数１８社に伸長。

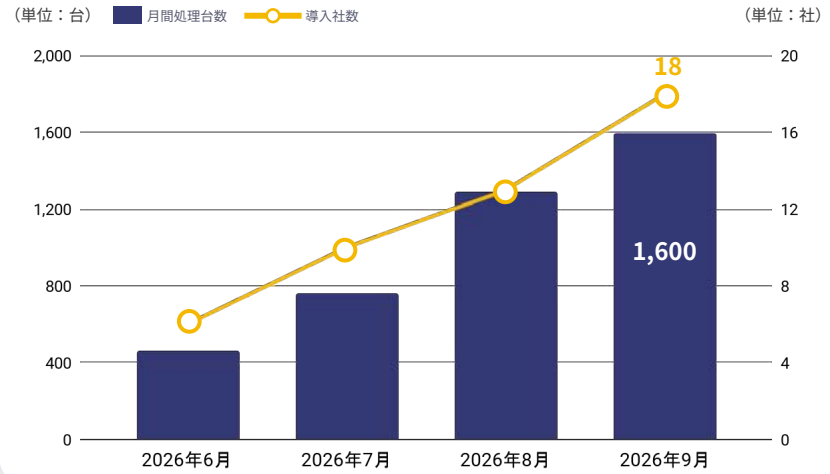
成長記録｜YAU・ARPU

YAU・ARPUともに増加基調



整備記録｜月間処理台数・導入社数

処理台数・導入社数ともに拡大



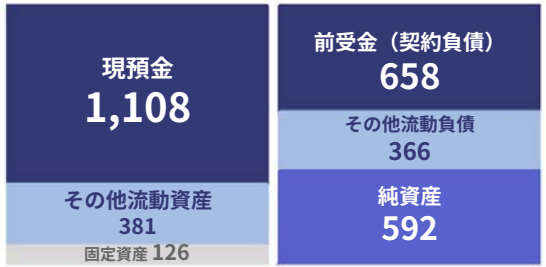
© LECRE Inc.

全社業績

バランスシートの状況

将来の売上につながる前受金（契約負債）は１０.０億円（前期末比＋３.４億円）に増加。営業活動で得た資金により、現預金は１６.３億円（同＋５.２億円）に拡大。

2025年9月末｜総資産1,616百万円



2026年9月末｜総資産2,595百万円



※1：百万円未満切り捨て。前期末比は2025年9月末残高との差額。
※2：現預金は2026年9月末残高。上場時（2026年10月）の自己株式の処分による手取金を含まず。当期の借入による資金調達なし。
※3：契約負債は年間契約等の前受金。残高のほぼすべてが1年以内に売上計上。
※4：その他流動資産の増加（前期末比＋363百万円）の主な内訳は棚卸資産＋148百万円、売掛金＋114百万円、前渡金＋88百万円。

© LECRE Inc.

3

2027年9月期 業績予想

2027年9月期 業績予想

売上高	営業利益	営業利益率	ストック売上比率
4,177百万円	1,212百万円	29.0%	50.8%
前期比 118.3%	前期比 167.0%	前期比 +8.5pt	前期比 +12.5pt

主要KPI

全社｜ARR	施工記録｜契約社数	施工記録｜累計ID数
2,538百万円	15,426社	168,793ID
26/9期末 1,675百万円	26/9期末 12,728社	26/9期末 131,622ID

※ARR・ストック売上比率・契約社数・累計ID数は業績予想の前提に基づく当社計画値。前期比は2026年9月期実績に対する比率。

© LECRE Inc.

2027年9月期 業績予想

売上高は４１.７億円（前期比１１８.３％）、営業利益は１２.１億円（同１６７.０％）を見込む。施工記録のストック売上が成長をけん引し、成長記録は保護者接点を広げてＹＡＵおよびＡＲＰＵの向上、整備記録は導入拡大を目指す。

（百万円）	26/9期 実績	27/9期 予想	前期比
売上高	3,529	**4,177**	118.3%
営業利益	725	**1,212**	167.0%
営業利益率	20.5%	**29.0%**	+8.5pt
経常利益	739	**1,212**	163.9%
当期純利益	484	**792**	163.5%
1株当たり当期純利益※	63円36銭	**97円51銭**	―
1株当たり配当金	8円00銭	**24円00銭**	―

※1株当たり当期純利益は公募による自己株式の処分（500,000株）を考慮した予想期中平均株式数により算定。オーバーアロットメントに関連する第三者割当による自己株式の処分（501,000株）は考慮せず。

© LECRE Inc.

株主還元

配当方針

当社は『「記録」で世界をアップデートする。』というミッション達成のため、当社の経営基盤を強固なものにするべく内部留保を確保すると同時に、業績の動向を踏まえつつ、株主への利益還元についても行っていくことが基本的な方針であります。第32期事業年度（2026年9月期）の剰余金の配当につきましては、上記基本方針を踏まえ、１株当たり8円※1を予定しております。なお、剰余金の配当を行う場合には、年１回の期末配当を基本方針としており、期末配当の決定機関は株主総会であります。また取締役会の決議によって、毎年３月31日を基準日として、中間配当を行うことができる旨を定款に定めております。
今後の内部留保資金につきましては、経営基盤の長期安定に向けた財務体質の強化及び事業の拡大発展と効率化の実現のための資金として、有効に活用して参ります。

なお、基準日が第32期および第33期に属する剰余金の配当予想は、以下のとおりであります。

	2026年9月期(予定)	2027年9月期(予想)※2
年間配当（1株当たり）	8.0円	24.0円

※1：2026年6月12日開催の取締役会決議により2026年7月1日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を実施。第31期（2025年9月期）の1株当たり配当額8,000円は分割後換算で8円。
※2：2027年9月期の配当予想は、業績拡大による利益水準の向上を踏まえ、株主還元の充実を図るため増配を予定。

© LECRE Inc.

4

成長戦略

成長戦略の全体像：３段階で成長を積み上げる

施工 成長 整備

施工記録のクラウド転換とＩＤ拡大を収益成長の基盤とし、成長記録ではＹＡＵ・ＡＲＰＵを拡大。さらに、共通の記録ＤＸ基盤を修理・整備などへ展開し、複数の成長ドライバーを段階的に積み上げる。

1

フィジカル産業：**建設**

施工記録領域のクラウド化・ID拡大

2

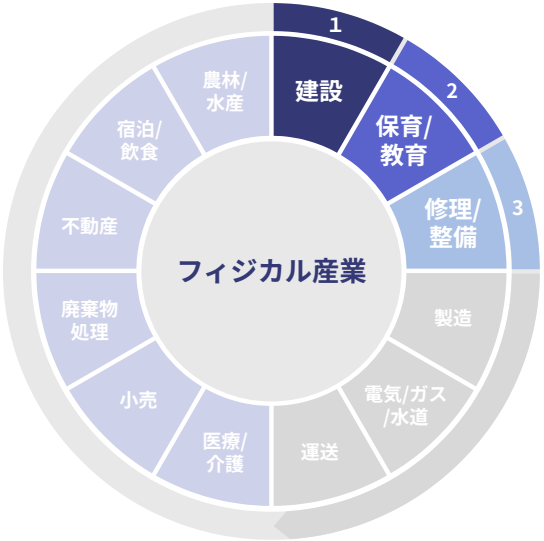
フィジカル産業：**保育／教育**

成長記録領域のYAU・ARPU拡大

3

フィジカル産業：**修理／整備、その他周辺**

整備記録領域・周辺産業への展開



© LECRE Inc.

横展開戦略

説明責任の重いフィジカル産業へ

施工 成長 整備

蔵衛門プレミアムの利用実績がある周辺産業を起点に、記録・説明責任の重要度と基盤の転用性を評価。業界固有の記録文脈と商流に適応させ、追加投資を抑えながら成長記録、整備記録、新領域へ段階的に展開する。

進出領域の選定基準

記録・説明責任の重要度
（顧客課題の整理）

×

記録DX基盤の転用性
（追加投資の抑制）

記録DX基盤　業界ごとに「記録文脈」「UI/UX」「商流」を最適化

写真を撮るだけ › 特化型AIが構造化 › クラウドで活用

新領域進出の実績と今後の展開



建設　売上 25億円 26/9期実績

確立　施工記録

施工品質の説明責任

公共工事・重層下請構造の中で、
正確な施工記録と関係者共有が不可欠



保育／教育　売上 10億円 26/9期実績

再現済み　成長記録

保育・教育の見える化

日常の成長記録を安全に整理・共有し、
保育・教育現場の透明性を担保



修理／整備　AITURBO 2026年6月リリース

展開中　整備記録

修理工程の透明化

不正防止・人手不足を背景に、
写真起点で工程・品質・案件管理を自動化

準備中　次の展開

フィジカル産業
新たな記録領域へ拡大

製造　電気／ガス／水道　運送

蔵衛門プレミアム
契約実績あり

© LECRE Inc.

横展開を支える共通ＡＩ基盤「RecAI」

施工 成長 整備

施工１７億枚、成長１億枚超の実データを活用する記録特化型ＡＩ「RecAI」を、施工記録から成長記録、整備記録へ展開。業界固有の記録文脈に適応する認識技術と自社運用基盤を活かし、新領域の早期事業化を目指す。



記録特化型AI

RecAI



「写真を撮るだけで業務文脈を理解し、構造化する」というコア技術は、記録業務を伴うフィジカル産業へ展開可能。

施工記録

- 青山ビル周辺緑地保全工事
  - 電気設備工事
    - 接地工
    - 撤去工

成長記録

- るくれ保育園2026
  - 日常保育スナップ
    - 佐藤 ゆい
    - 橘 ひまり

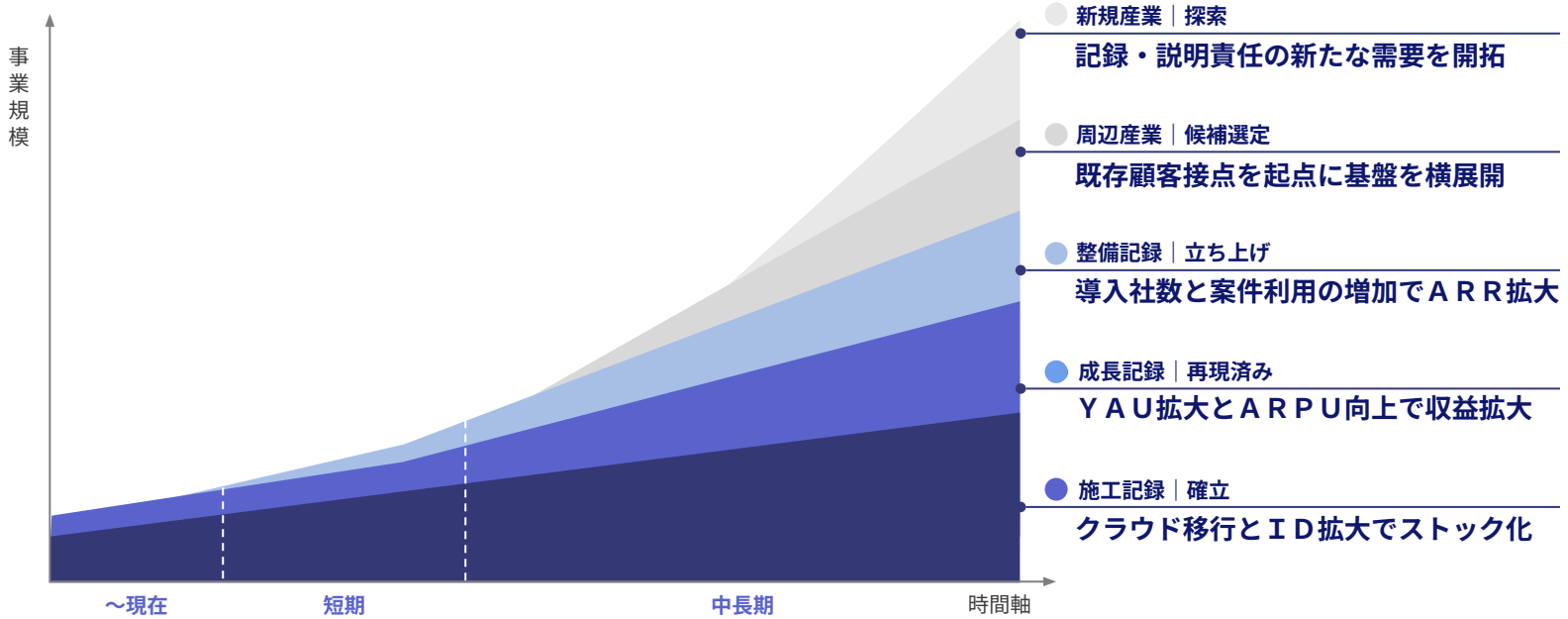
修理・整備記録

- 車両番号：911赤2378
  - 板金
    - 外板鈑金
    - 修理後

© LECRE Inc.

施工記録領域を基盤に、領域展開を重ね、持続的な成長へ

施工記録のクラウド化による成長を基盤に、成長記録・整備記録の拡大と新領域への展開を段階的に積み上げる。共通の写真×ＡＩ・記録ＤＸ基盤を活用し、既存事業の収益拡大と次の成長機会を両立する。



※本図は各事業の中長期的な成長イメージを示す概念図であり、将来の業績を示すものではない。

© LECRE Inc.

5

事業ハイライト

①施工記録領域

大手ゼネコンで全社導入が進展、顧客内ID拡大が具体化

施工 / 成長 / 整備

大成建設では蔵衛門の全社導入とＢＩＭを活用した配筋検査の完全デジタル化を推進し、大林組でも建築現場への全社導入が実現。利用が特定の現場・担当者から複数の現場・部門へ広がり、顧客内でＩＤ数を拡大させる成長戦略が進展。

プレスリリース 2026.06.04

大成建設が蔵衛門を全社導入、BIM※で配筋検査の完全デジタル化



プレスリリース 2026.10.26

大林組、蔵衛門を建築現場に全社導入。工事写真を「情報資産」へ



※BIM（Building Information Modeling）は建物の3次元モデルに部材や仕様などの情報を持たせ設計・施工・維持管理で活用する手法。

© LECRE Inc.

①施工記録領域

現場起点の機能進化で、「蔵衛門」の定着力をさらに強化

施工 成長 整備

映像から安全管理を効率化する「安全パトロールＡＩ」と、撮りたい瞬間を逃さないＺＳＬ（瞬間記録）を提供。現場の撮影業務を起点に、利用領域と撮影体験の両面を進化させ、技能者を含む利用者の日常業務への浸透と継続利用を促進。

プレスリリース 2026.06.12

品質も安全も「蔵衛門」で管理。安全パトロールAI機能を提供開始



プレスリリース 2026.08.20

ZSL※（瞬間記録）に対応！蔵衛門が“コンマ秒”の撮影体験を提供



※ZSL（Zero Shutter Lag）はシャッターを押した瞬間の画像を記録しシャッターラグ（遅延）をなくす機能。

© LECRE Inc.

②成長記録領域

「せんせいみて！」と「うちの子」で、YAU拡大とARPU向上を推進

施工 成長 整備

幼保園向け「せんせいみて！」の無料提供で、未就学児の保護者との接点を拡大。さらに、保護者向けアプリ「うちの子」で日常の成長記録へ利用を広げ、アプリ内課金による収益化を開始。ＹＡＵ拡大とＡＲＰＵ向上の両施策を実行。

無料配布開始 2026.02.12

「せんせいみて！」保育園向けのリアルタイム写真共有アプリ



有料プラン開始 2026.07.08

「うちの子」保護者向けの子ども成長共有アプリ



© LECRE Inc.

③整備記録領域

AITURBO（アイターボ）で新領域を立ち上げ

施工 成長 整備

修理工程の透明性向上と人手不足への対応が求められる車体整備業界へ、２０２６年６月から修理・整備ＡＩクラウド「AITURBO」を提供。修理写真を起点に工程、品質、案件情報を一元化。

自動車修理/整備の記録に最適化してプロダクトをローンチ

車体整備業界の問題

- ¥↓ 労務費の転嫁率ワースト１位※1
- 人手不足・高齢化
- 不正事件による透明化要請



記録DXニーズ

修理・整備AIクラウド「AITURBO」

2026年6月リリース

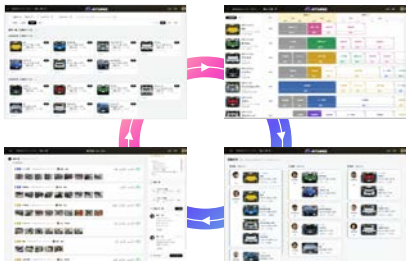
アイターボ AITURBO



写真打刻※2×RecAIで
管理業務を自動化

写真を起点に一元管理





※1：令和５年公正取引委員会特別調査：自動車整備業は、労務費の転嫁率が低い受注者の割合が高い業種「ワースト１位」から引用。
※2：写真打刻は作業の開始・途中・完了を撮影した写真の時刻情報をもとに作業状況を自動更新する機能。 特許出願中

© LECRE Inc.

6

Appendix

会社概要：3つの記録DX領域

会社名	株式会社ルクレ（英名：LECRE Inc.）
本社所在地	東京都港区北青山1-2-3 青山ビル3F
設立	1995年（決算期：9月）
代表者	代表取締役　有馬 弘進
資本金	3,000万円（2026年9月末時点）
売上高	3,529百万円（2026年9月期）
経常利益	739百万円（2026年9月期）
従業員数※	113名（2026年9月末時点）

デバイス×AIクラウド型の「記録DXプラットフォーム」を提供

施工
施工記録


成長
成長記録


整備
整備記録
2026年6月 提供開始


※従業員数は臨時従業員を含む。

© LECRE Inc.

ルクレのあゆみ

写真技術の変化を捉え、写真ソフト「蔵衛門」は専用端末、クラウド、ＡＩへ進化。培った事業基盤を次の領域へ展開。

1995 創業※

施工記録 1998 2014 2021 2024



蔵衛門工事写真



蔵衛門Pad



蔵衛門クラウド



蔵衛門カメラ

成長記録 2018



みんなの写真屋さん

整備記録 2026



AITURBO

※創業時の社名は株式会社トリワークス

© LECRE Inc.

経営体制



代表取締役

有馬 弘進 Hironobu Arima

多摩美術大学 美術学部
グラフィックデザイン学科卒業

大学で写真技術を専攻後、出版社に入社。編集者としての活動を経て、2002年にトリワークス（現ルクレ）へ入社。株式会社DigiBook代表取締役を歴任し、2019年よりルクレ代表取締役を務める。



取締役
サービス開発部 部長

渋谷 充宏 Mitsuhiro Shibuya

東京工業大学大学院
総合理工学研究科修士課程修了

知能システム科学を専攻し、ロボットの動作生成を研究。2006年にトリワークス（現ルクレ）へ入社。基幹システム、R&D、記録AI基盤の開発を牽引。2023年より取締役兼サービス開発部部長を務める。



社外取締役

波田野 馨子 Keiko Hatano

中央大学大学院
法務研究科修了

2008年に弁護士登録し、森法律事務所入所。2022年に波田野綜合法律事務所を設立、神奈川県弁護士会副会長等を歴任。複数の上場企業で社外役員を務め、2022年にルクレ社外取締役に就任。



社外取締役

影山 輝彰 Teruaki Kageyama

大阪大学大学院工学研究科
環境エネルギー工学専攻博士後期課程修了

ゼネコンでの実務を経て日本建設情報総合センターに入社。同研究所主任研究員等を歴任し、建設DX施策やBIM/CIM、ICT活用による生産性向上に従事。2026年ルクレ社外取締役に就任。



執行役員
事業本部 本部長

野村 絵里奈 Erina Nomura

一橋大学大学院
経済学研究科修了

全国統計協会連合会を経て、2006年にトリワークス（現ルクレ）へ入社。サービス開発部部長、サービス営業部部長を歴任し、2025年より執行役員 事業本部本部長に就任。事業推進を担う。



執行役員
管理部 部長

阿部 雅美 Masami Abe

千葉大学 法経学部法学科卒業
グロービス経営大学院大学 経営研究科修了

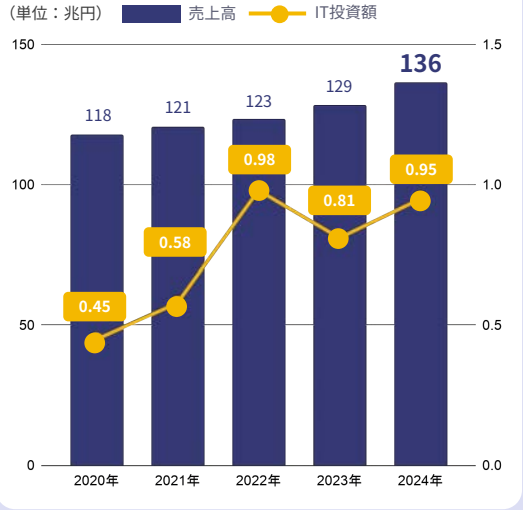
複数企業での管理・バックオフィス業務に従事。2012年にルクレへ入社。広報、法務、経営企画を経て、2025年より執行役員 管理部部長に就任。2025年にMBA取得。

© LECRE Inc.

建設市場：136.4兆円・48.4万社の巨大フィジカル市場

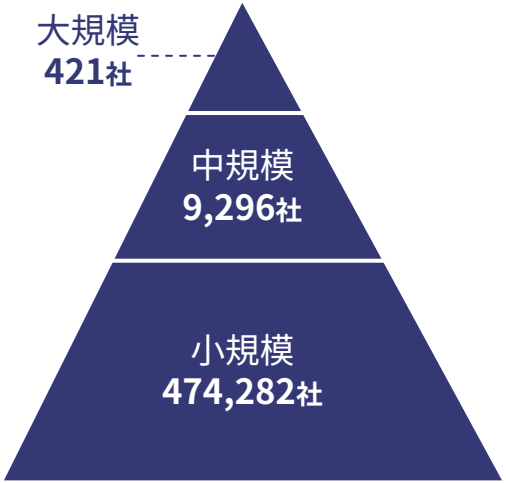
国土強靭化や都市再開発、老朽インフラの更新需要を背景に、建設業の総売上高は１３６.４兆円。許可業者４８.４万社、就業者４７８万人で構成され、大企業から地域の中小事業者まで広がる国内有数の巨大フィジカル市場。

総売上高 136.4兆円 R6年



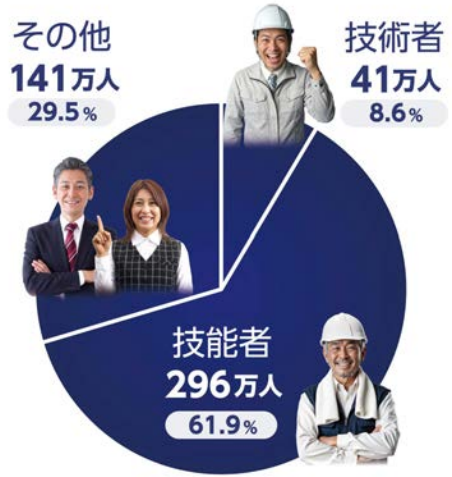
出典（売上高）：政府統計の総合窓口より経済構造実態調査（産業横断調査）
出典（IT投資額）：国土交通省「建設投資額」×IT予算投資率（JUAS企業IT動向調査報告書）

会社数 48.4万社 R7年度



出典：国土交通省「建設業許可業者数調査」（令和7年度末現在）。
規模別の社数は許可業者数を従業員規模別の構成比で按分した当社推計。

就業者数 478万人 R7年



出典：総務省「労働力調査」より、建設業就業者数（令和7年平均）

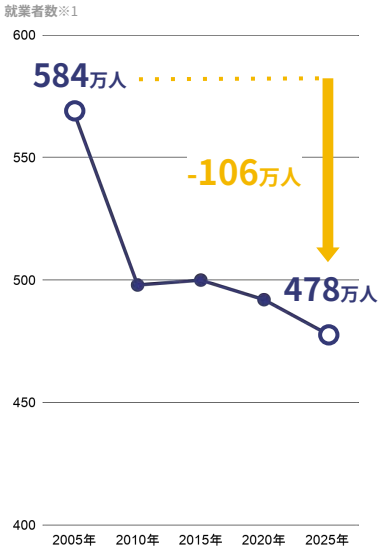
© LECRE Inc.

建設市場の構造課題：担い手減少と生産性・DXの遅れ

建設就業者数は２０年間で１０６万人減少する一方、年間労働時間は全産業平均を２３７時間上回る。労働生産性は製造業の半分以下、ＤＸに取り組む企業の割合も比較対象産業の中で最下位にとどまる。

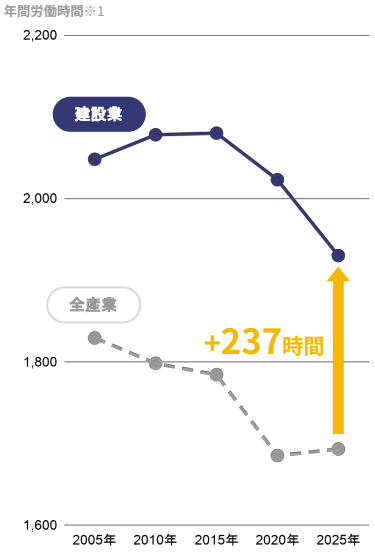
建設就業者数の推移

20年間で106万人も減少



労働時間の推移

全産業平均を237h上回る



労働生産性の推移

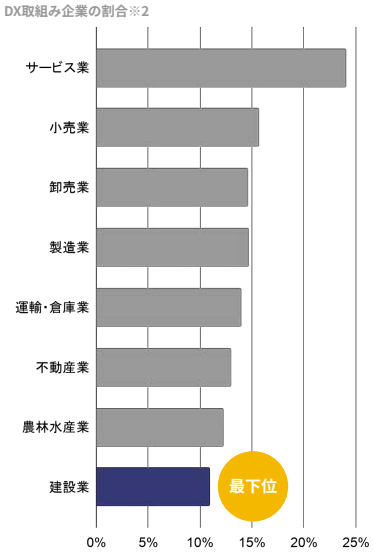
生産性は製造業の半分以下



DXは？

産業別、DX取組み企業の割合

建設業のDX進捗は最下位



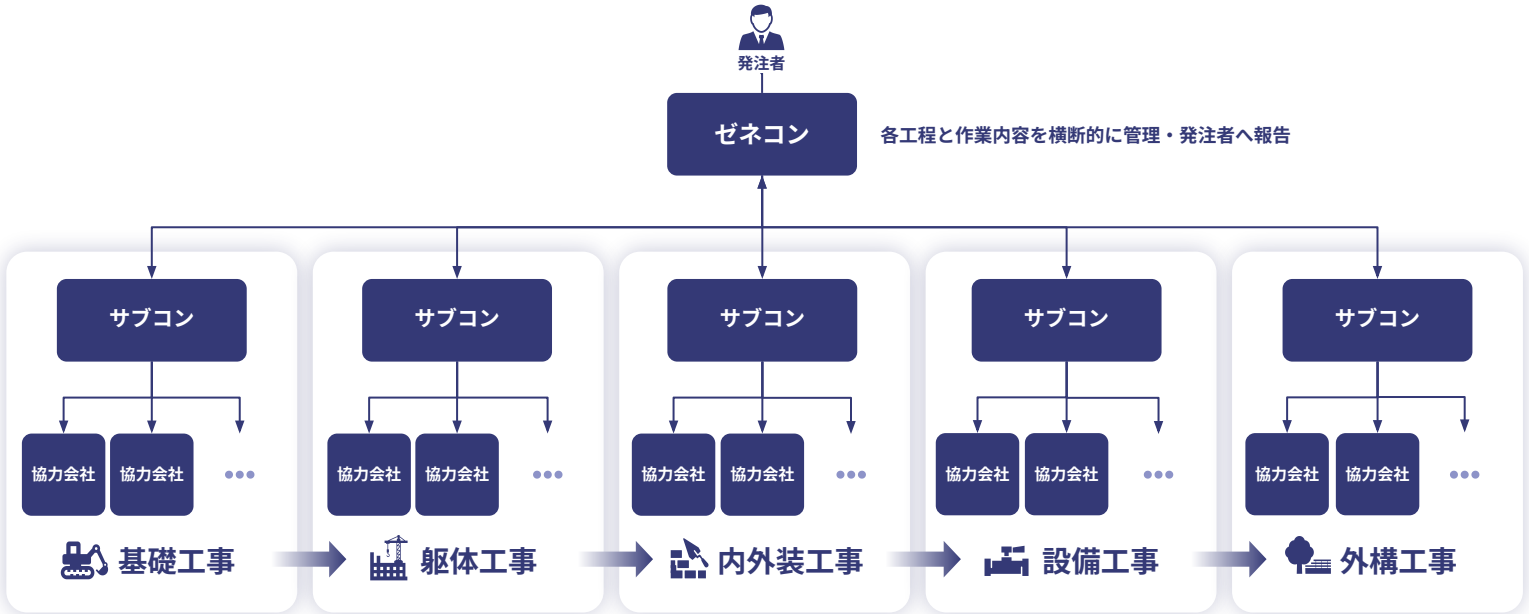
※1出典：一般社団法人日本建設業連合会「建設業デジタルハンドブック」
※2出典：株式会社帝国データバンクが実施した「DX推進に関する企業の意識調査（2022年1月）」

© LECRE Inc.

DXが進まない構造①

重層下請構造による情報分断

ゼネコン、サブコン、協力会社が工事・工程ごとに連携する重層下請構造では、組織をまたぐデータの共有が難しい。加えて、組織ごとにあるＩＴリテラシーの差が、現場全体へのデジタルツールの導入と定着を妨げる要因となっている。





© LECRE Inc.

DXが進まない構造②

技術者への管理業務の集中

建設現場では、品質・原価・工程・安全・環境の管理業務が、情報のハブとなる４１万人の技術者に集中。日常の管理や関係者との調整に追われ、新たなデジタルツールを選定し、現場全体に定着させるための時間と余力が限られている。

技術者の業務

Q 品質管理
- 設計図・仕様書の確認
- 施工計画書の作成
- 出来形確認
- 品質記録の作成
- 検査対応

C 原価管理
- 実行予算の管理
- 協力会社との調整
- 追加・変更工事の確認
- 出来高確認
- 請求・支払確認

D 工程管理
- 工程表の作成・更新
- 作業調整
- 進捗確認
- 職人・協力会社の手配
- 資材搬入の調整

S 安全管理
- 安全設備の点検・巡回
- 安全朝礼・KY活動
- 危険箇所の是正指示
- 事故・ヒヤリハット対応
- 安全書類の確認

E 環境管理
- 仮設計画の作成
- 産廃分別・搬出管理
- 近隣説明・苦情対応
- 現場周辺の管理
- 諸官庁への届出

技術者は現場情報のハブ



ITスキル 高

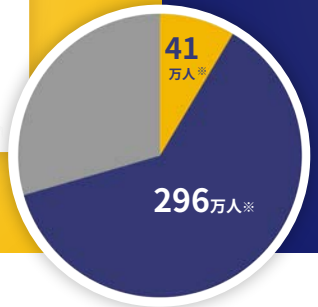
技術者

（現場監督）

ITスキル 低

技能者

（職人・作業員）



技能者の業務



※出典：総務省「労働力調査」より、建設業就業者数（令和7年平均）

© LECRE Inc.

大きな業務負荷

「工事写真」

工事写真は、品質・原価・工程・安全・環境のすべてに関係し、現場技術者の大きな業務負担となっている。日中の巡回時に行う撮影だけでなく、帰社後の写真整理や台帳作成まで作業が続き、技術者の長時間労働の一因となっている。

工事写真が関わる業務

Q 品質管理
設計図・仕様書の確認
施工計画書の作成
出来形確認
品質記録の作成
検査対応

C 原価管理
実行予算の管理
協力会社との調整
追加・変更工事の確認
出来高確認
請求・支払確認

D 工程管理
工程表の作成・更新
作業調整
進捗確認
職人・協力会社の手配
資材搬入の調整

S 安全管理
安全設備の点検・巡回
安全朝礼・KY活動
危険箇所の是正指示
事故・ヒヤリハット対応
安全書類の確認

E 環境管理
仮設計画の作成
産廃分別・搬出管理
近隣説明・苦情対応
現場周辺の管理
諸官庁への届出

技術者は現場情報のハブ



工事写真に膨大な時間を費やす

技術者の1日スケジュール（例）

7:30	朝礼準備
8:00	安全朝礼
8:30	**現場巡回・写真撮影**
11:00	会議
12:00	昼休み
13:00	**現場巡回・写真撮影**
18:00	現場戸締り
18:30	**写真整理**
20:00	**各種書類作成**
21:30	帰宅

© LECRE Inc.

工事写真は施工品質を証明する不可欠な記録

工事写真は、施工状況・品質・出来形等を証明し、発注者への納品にも用いられる重要な記録。工種や工程に応じた撮影ルール、写真ごとの属性情報、指定様式での電子納品の対応が必要であり、単純に削減できない業務となっている。

撮り方にルールがある

工事写真は5W1Hの証跡を残し、定められた撮影ルールに従う必要がある。



工事写真の教科書※1

工事写真の5W1H	
When	時期･加工前後等
Where	場所･部位等
Who	立会者等
What	工事種目･分類等
Why	規格･寸法等
How	施工状況等

工程を全て記録する

全工程を網羅的に記録するため、工事によっては数万枚の撮影が必要となる。

木造戸建て



平均 **186**枚 撮影 ※2

電気工事



平均 **771**枚 撮影 ※2

新築ビル工事



平均 **8,177**枚 撮影 ※2

インフラ工事



平均 **24,871**枚 撮影 ※2

公共工事は電子納品

完成時には発注者指定の形式で写真を納品し、公共工事では厳格な様式に従う。


施工状況


品質管理


出来形管理


使用材料


安全管理


災害写真


事故写真


その他


写真台帳


電子納品

※1：「営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック(令和5年版)」国土交通省大臣官房官庁営繕部(著),公共建築協会(著)
※2：「蔵衛門クラウド」で管理する工事データのうち2021年9月から2026年7月までの工事を対象に、工事種別ごとの1工事当たりの写真枚数を集計し、平均値を算出。

© LECRE Inc.

市場機会

規制強化により信頼できる記録DXが不可欠に

不正防止や電子納品への対応を背景に、デジタル工事写真には編集を認めない基準や信憑性を確認する仕組みが整備。現場負担を抑え、撮影時点から真正性を確保し、関係者へ共有できる信頼性の高い記録ＤＸの重要性が高まっている。

工事写真への規制

① 基準策定

1999年

デジタル写真管理基準

電子媒体にて写真提出する

属性情報の標準仕様

② 加工禁止

2006年

デジタル工事写真の加工を全面禁止

写真の回転など一切の加工を禁止

③ 真正性確認

2017年

記録の信憑性担保が必須となる

写真の回転やトリミングなど一切の加工の禁止に加え、対応する撮影アプリ・管理ソフトによって信憑性を確認

規制は段階的に強化

建設業界の不正事件例（手抜き工事）

写真の改ざん発覚

2005年　構造計算書偽造問題

国土交通省認定構造計算ソフトの計算結果を改ざん。行政や指定検査機関で改ざんを見抜けず。

2006年　国交省発注工事での写真改ざん

道路工事の受注者が、デジカメで撮影した法面の見栄えを良くしようと写真を加工したことが発覚。

2015年　施工不良によるマンションでの傾き問題

地盤調査の虚偽データを基に、元請け・下請業者が杭工事を実行。多重下請の工事体制が問題。

2023年　高層複合ビル建て直し

鉄骨の精度を示す数値を改ざん。実測と異なる数値をスーパーゼネコンが報告。

2024年　強度不足によるタワマン販売休止

53階 建てのタワマンのコンクリート強度不足が検査で発覚。販売直前で休止。原因調査中。

© LECRE Inc.

3つの強みが循環し、模倣困難な事業基盤を形成

２８年で培った顧客基盤、現場用途に最適化した専用端末、１７億枚超の現場データを活用する記録ＡＩが連動。利用拡大に伴うデータ蓄積と継続的な機能改善により、模倣困難な事業基盤を形成。



ブランド力

長年培ったブランド認知と継続的な顧客接点を活用し、クラウドサービスへの転換を容易にする。

定着力

現場環境と用途に最適化したUI/UXや専用端末がITスキルを前提とせず浸透し、ワークフローへ定着する。

理解力

現場から集まるデータを記録AIが構造化。蓄積データを学習し認識精度と、機能改善に活用し続ける。

© LECRE Inc.

①ブランド力

28年で築いた顧客基盤をクラウド契約へ転換

１９９８年の発売から２８年、建設業許可業者の約４社に１社に相当する１１万社の顧客基盤を構築。継続的な顧客接点を活用してクラウドサービスへの切り替えを進め、２０２２年から４年間で契約会社数を１２,７２８社まで拡大。

1998年 発売

工事写真管理ソフトウェア
「蔵衛門 “工事写真 ”Ver5.1」から

28年の顧客基盤



築いてきた顧客基盤

蔵衛門導入会社数

約11万社※1

建設業許可業者の約 4社に1社に相当※2

クラエモン 蔵衛門クラウド

2022年から4年間で

12,728社※3

- 長年の信頼関係
- 継続的なサポート・接点
- クラウドの価値提供

クラウド契約会社数を拡大

※1：オフライン環境等で工事写真を整理し、写真台帳等の成果物を作成する「蔵衛門御用達」と「蔵衛門プレミアム」を導入した2026年9月末時点の会社数。
※2：建設業許可業者数：483,823業者。国土交通省「令和7年度末の建設業許可業者数調査」より。2026年3月末時点、2026年5月15日公表。
※3：2026年9月末時点

© LECRE Inc.

②定着力

現場起点デバイスが日常業務に組み込まれる

過酷な現場環境に対応した専用端末と直感的に操作できるアプリを一体で提供。技能者が工事写真を「撮る・確認する・共有する」日常業務に組み込まれることで、累計出荷約８.０万台、２６/９期の会社単位解約率は０.２２％と低位。

現場専用デバイス × 直感UI × 日常ワークフロー ＝ 継続利用を支える定着力

現場に最適化した専用端末

ハードウェアとアプリを一体設計



防水・防塵

耐衝撃

手袋操作

×

日常業務に組み込まれる

毎日繰り返す工事写真業務へ定着

① 工事写真を撮る

▼

② その場で確認する

▼

③ その場で共有する

＝

継続利用を支える実績

現場ワークフローへの高い定着

累計出荷台数 **8.0万台**
26/9月末時点

解約率 **0.22%**
26/9期

© LECRE Inc.

③理解力

RecAIが建設特有の施工文脈を構造化

１７億枚超の現場データを活用する記録特化型ＡＩ「RecAI」が、建設特有の施工文脈を理解し、撮影された写真を１,５００種類の施工記録へ自動分類・構造化。写真整理や帳票作成の効率化を支援。





© LECRE Inc.

技術基盤

生成AI時代に写真の真正性を検証

生成ＡＩの普及で写真の生成・改ざんが容易になる一方、説明責任を伴う現場では、記録の真正性が一層重要に。当社は撮影時の情報を証明ＩＤとして付与・照合する「写真証明システム」を保有し、蔵衛門とAITURBOで実運用。

AIで写真を活用するだけでなく、AI時代に「写真が事実であること」を証明する基盤も保有

生成AI時代のリスク

写真は「見た目」だけでは
真正性を判断しにくい



生成物と実写の境界が曖昧に

ルクレのカウンター

撮影時点の情報を証跡として保持

証明ID

写真・動画・帳票の
真正性を検証

1. 現場で撮影
2. 証明IDを付与
3. 後から照合

説明責任を支える

施工記録 蔵衛門

修理・整備記録 AITURBO

実運用

他フィジカル産業へ展開可能

真正性要求に応じた3方式　ローカル証明「蔵衛門」　サーバー証明「AITURBO」　ブロックチェーン証明※

※ブロックチェーン証明方式は特許出願中（特願2026-97959）

© LECRE Inc.

「蔵衛門」導入企業

施工 成長 整備





























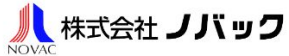






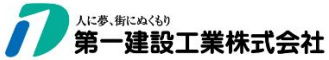






















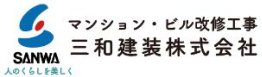














※掲載している企業ロゴは「蔵衛門」公式サイトで公開している導入企業のロゴ。

© LECRE Inc.

本資料の取り扱いについて

本資料は、株式会社ルクレ（以下「当社」といいます）の企業情報・決算情報等の提供を目的としており、国内外を問わず、当社の発行する株式その他有価証券の購入、売却など、投資を勧誘するものではありません。投資に関する最終的な判断は、ご自身の責任とご判断にて行っていただきますようお願いいたします。

本資料に含まれる将来予想に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予想に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報等が含まれます。そのため、これらの将来予想に関する記述は、既知及び未知のリスク、不確実性及びその他の要因に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について、当社は何らの検証は行っておらず、またこれを保証するものではありません。

本資料における将来情報に関する記載は、上記のとおり本資料の作成時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新する義務も方針も有していません。

© LECRE Inc.


青山ビル 3F
IML
青山一丁目駅
赤坂御所
青山ツインビル
HONDA
本社
青山通り
外苑東通り